



小井土 哲雄 議員

# 新生活改善運動の一層の普及を

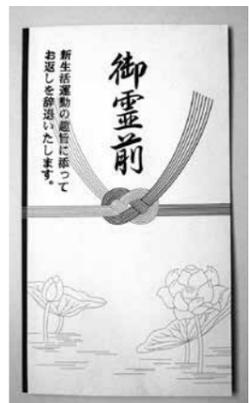
## 趣旨賛同のスタンプで対応を考える

**問** 葬儀は金銭的負担が大きい。新生活改善運動を一層普及するにあたり、中央公民館としての普及の考えは。

**答** 教育次長 最近の佐久地区の公民館会議では新生活改善運動の話題は無いが、普及推進に努めたい。

**問** 普及にあたり新生活改善運動の趣旨が印刷された香典袋が必要と考えるが。

**答** 教育次長 香典袋の表面に「新生活運動の趣旨に賛同しお返しを辞退します。」といったスタンプを公民館に用意し対応できるのではと思うので、考えていきたい。



スタンプを押した香典袋の例

**問** 国保の資産割を見直す考えは

**必要があれば検討したい**

**問** 国保加入者に係る資産割は、かつて自営業者や農業者が大半であったが、現在では無職者や低所得者が多く加入しており固定資産も住居資産が多い。国保税の資産割を見直すべきと考えるがどう

**答** 保健福祉課長 年間3千400万円ほどとなる。町長 現在の計画は県に移管されるまでの計画となっており、もし見

**除雪時の危険箇所の改善は**

**補修工事により早期改善したい**

**問** 除雪業者との会議で要望も含め、どのような話し合いが行われたか。

**答** 建設水道課長 各社の除雪作業に使用する機械の機種と担当路線1次2次出動路線の協議と除雪業務に係る契約等について確認した。また、除雪作業に伴う道路上の支障物、突起物の対応もした。

**問** 舗装面より突起している危険箇所の改善状況は。

**答** 建設水道課長 事前に報告を受けた支障物件が76カ所あり、施設管理者に改善の依頼をし補修工事をした。

**問** 資産割への課税は不条理と考えるが、町長はどう考えるか。

**答** 町長 この賦課方式です。とやってきました。県内9割以上の自治体がこの課税方式となると、不合理と言っているのか難しい問題と思う。次の計画時に、必要があれば検討対象になる。

**答** 建設水道課長 26年に25カ所、27年に31カ所、28年に3カ所、残りは現在道路改良工事の予定箇所である。今後も、支障となる箇所の聞き取り調査を行い早期改善に努めたい。



池田 健一郎 議員

# 2万人都市構想の一策として「空き家」の活用を取り組みを

## 空家改修に対する補助金を創設

**問** 空家の実態は、空き家バンクは機能しているのか。

**答** 企画財政課長 専用のHPを開設し、運用を開始した。現在11件の登録で、町外からの移転2件、町内移転1件、町外不動産業者の購入1件の計4件が成約された。

**問** 再利用できるように手を加える場合の補助等で100万円が予算化された、町の考えは。

**答** 建設水道課長 平成28年度庁舎内で、空き家対策推進委員会を関係部局の係長

で組織し、検討を進めている。調査の結果、6割以上の所有者が改修の意向を持っている。空き家改修等補助金交付要綱を作成し、平成29年度より運用に向けて準備している。

**問** 解体に必要な物件について、良い手立てはないか。

**答** 建設水道課長 建物は個人の財産で、解体に対する税金の投入は慎重な対応が必要。

**問** 建設水道課長 建物には個人の財産で、解体に対する税金の投入は慎重な対応が必要。

**答** 建設水道課長 小規模住宅用地の宅地は1/6軽減の税負担であるが、住民登録されていない

宅地の軽減措置がなければ、放置は少なくなるのではないかと。

**問** 空き家が増える一方で、情報を管理する部署を作る考えは。

**答** 企画財政課長 総務課と税務課で、町内の情報を整理することで、新しい部署は必要ない。

**問** 古民家は町の財産、保護等の必要性は。

**答** 教育次長 真栄寺のような指定史跡は1/4の補助をしている。町指定の文化財になると諸々制限が

かかる。県の調査結果を踏まえて、文化財の保護に努めていきたい。小田井宿は、町の大切な観光資源で史跡になっており、保護はしていく。

**問** 健康寿命の延伸対策は。

**答** 保健福祉課長 生活習慣病予防と、介護予防の推進を柱としている。

**問** ロコモティブシンドロームの対策と実態は。

**答** 保健福祉課長 理学療法士の指導のもと運動機能低下防止事業を全地区で実施している。

**問** 健康マイレージ制度などの導入の考えは。

**答** 健康マイレージ制度などの導入の考えは。



空き家バンク登録物件



はつらつサポーターによる介護予防事業